

福 井 県

「次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画 (仮称)」(案)に関する県民パブリックコメント意見募集の結果

令和6年3月29日
福井県農林水産部政策推進グループ

(概 要)

「次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画(案)」について、県民の皆様から貴重な御意見をいただき、厚く御礼を申し上げます。提出された御意見の概要等を、下記の通り公表します。

- 1 募集期間
令和6年2月13日(火)～3月5日(火)
- 2 意見件数(提出者数)
11件(9名)
- 3 提出された御意見の概要および県の考え方
別添資料のとおり

【問い合わせ先】

福井県農林水産部政策推進グループ
TEL: 0776-20-0416
FAX: 0776-20-0649
メール: nourinbu@pref.fukui.lg.jp

**次世代へつなぐ、希望あふれるふくいの食・農・環境計画（案）に関する
県民パブリックコメント意見の概要および県の考え方**

○県民の皆様からの御意見 11件（9名）

【4K農業の展開】

意見の概要	意見に対する県の考え方
女性と障がい者の活躍がひとくくりだが別物と思う、表現はこのままか。	御意見を踏まえ、表現を修正します。
市場ニーズだけでなく、他のニーズを探ることができる機関を入れてほしい。	「農業経営アクセラレーションセンター」では、流通関係者を含めた多分野の専門家によるコンサルティング体制を整備し、新たな販路開拓等を支援していきます。
都市近郊のハウスのリノベーションをしていただきたい。	近郊園芸産地の老朽化ハウスをリノベーションし、再生することとしています。
ふくいの食のブランド化のために、畜産に力を入れてほしい。	若狭牛の生産拡大や人材確保、新たなオリジナル畜産ブランドの発信等でブランド畜産の振興を図っていきます。
スマート農業といった農業者が楽になる施策はありがたい。	引き続き、ICTやセンシング技術、自動化技術等の先端技術を活用したスマート農業の導入の加速化に取り組んでいきます。

【人々の笑顔があふれるふくいの農村づくり】

意見の概要	意見に対する県の考え方
農村住民は維持管理に力を割いている。機械化できるような地形に造成する知識等を集めて還元してほしい。	地形条件に合わせた基盤整備を進め、情報発信に努めます。
農村では市街地より「役の数」が多い。負担を減らしてほしい。	御意見については、今後検討していきます。
農業セーフティネットは重要であるので、厚みを持たせた記載にしてほしい。	御意見を踏まえ、本文に記載します。

【ふくい食・農・農村への思い、憧れの醸成】

意見の概要	意見に対する県の考え方
有機JASは農業ブランドを高める。福井県として有機に振ると面白い。	40ha規模以上の大規模な水稲有機モデル経営体の育成等、有機農業のロールモデルづくりを進めていきます。
GAP（農業生産工程管理）と親和性の高い項目がいくつかある。明記してはどうか。	御意見を踏まえ、本文に記載します。
お土産は「自分のため」「近所に配る」「会社に配る」の3つのパターンがある。買う側に立ったお土産づくりを進めてほしい。	御意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。